

平成 17 年度の事業報告

1. 全体事業の概要

(1) 事業の概要

平成17年度をわくプロ本格始動の年度と位置づけ、以下の事業を実施しました。

事業名	成果及び課題	備考
サイエンスレクチャー	<ul style="list-style-type: none"> 県内東部地域の学生を対象に、初めて福山市でも開催 参加者：広島市 210 名（定員 200 名） 福山市 110 名（定員 100 名） 福山市では、教員も 10 名以上参加。 参加者から高い評価を得る。 教員からは、引き続き平成 18 年度も福山市での開催を強く要望される。 	予算額：2,000 千円
ジュニア科学塾	<ul style="list-style-type: none"> 参加者：中学生 24 名（定員 20 名） 参加者を班分けし学生スタッフを班ごとに割り当てサポート。 客員研究員の中学、高校の教員が学校における参加者の理解度を把握しながら適切な指導助言。 学生スタッフと客員研究員とのチーム指導が参加者の理解度を高める。 参加者から高い評価を得る。 	予算額：800 千円
科学塾	<ul style="list-style-type: none"> 参加者：高校生 22 名（定員 20 名） 参加者を班分けし学生スタッフを班ごとに割り当て、サポート。 客員研究員の中学、高校の教員が学校における参加者の理解度を把握しながら適切な指導助言。 学生スタッフと客員研究員とのチーム指導が参加者の理解度を高める。 参加者から高い評価を得る。 	予算額：700 千円
小学理科ネット	<ul style="list-style-type: none"> 小学理科ネットの認知度を高め、活用を促進するために、広島市立船越小学校に出向き教員を対象とした理科実験の模擬授業を行う。 参加した教員達が、小学理科ネットを活用し始める。 	予算額：1,200 千円
わくプロ研究推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の教員が理科の授業で使うことができる地層や生物解剖等の動画配信を開始。 外部サーバーを設置。 わくプロ意見交流会開催。 	予算額：1,300 千円
予算合計		合計額：6,000 千円